# 平成30年度「バリアフリーフェスタかながわ」について

資料２

資料２

過去の県民会議で整理した考え方と、実行委員会のアンケートにて示されたご意見を基に、標記会議の開催場所について検討した。

１　過去に整理した考え方

　（１）フェスタを継続し、実行委員会形式で進める。

（２）立地がよく、バリアフリー整備された集客力のある施設を探す。

　　（３）他のイベントとの共催を視野に入れ、同時開催ができる場所を検討する。

２　実行委員会で示されたご意見等

（１）実行委員に開催場所について情報提供をお願いしたが、有力な情報は得られなかった。

（２）今年度は慶應義塾大学で開催し、アクセス等について好意的な意見もいただいた一方、イベントを開催する上での制約が多い、大学構内での開催であるため、フェスタを目的として来場する方に限定されていたように思うとの意見も頂いた。

（３）今年度は他イベントとの同時開催であり、そのことについて好意的な意見が多数寄せられた。

３　県の考え方

　　１と２の状況を考慮し、県の考え方を次のとおり整理した。

　　（１）引き続き昨年度までの考え方は継続する。

　　（２）今年度は慶應義塾大学で開催し、好意的な意見もいただいたが、イベントを開催する上での制約が多いという意見や会場使用料の都合から別の場所を検討する。

　　（３）普及啓発の視点から、普段バリアフリーの街づくりに関心が薄い人々を集客可能なことも考慮する。

４　会場候補

（１）場所

新都市ホール　横浜市西区高島２－18－１（最寄り駅：横浜駅）

（２）日程

１１月４日（日）

（３）備考

ア　横浜駅からアクセスがよく、商業施設の中にあり、様々な人が訪れる。

イ　屋外スペースを使用できる見込みがあり、呼び込み等に使える（現在調整中）。

ウ　同日県主催の介護フェアも開催予定のため、連携を期待できる。